



お客さま第一主義+地域のトップバンク

平成23年2月
株式会社 千葉銀行
(東証第1部：8331)



■ 成長性に富む「千葉県」

千葉県の成り立ち	2
人口が増加する千葉県	3
他都道府県を上回る経済成長	4
更なる成長余地	5
千葉が誇る全国ナンバーワン	6

■ 千葉の成長と共に歩む千葉銀行

■ 業績推移と株主還元

■ 参考資料

千葉県の成り立ち

■「安房」「上総」「下総」の由来

- ・「古語拾遺(こごしゅうい)」によれば、天富命(あめのとみのみこと)により率いられた阿波斎部(あわのいんべ)が、麻を栽培して成功。その肥沃な地が「総(ふさ)の国」と呼ばれ、斎部の居住地は阿波の名をとって安房郡と名づけられた。
- ・西国からの移住が海岸部から始まったため、半島南部の方が都に近い「上総」、北部が「下総」となった。

■「千葉」の由来

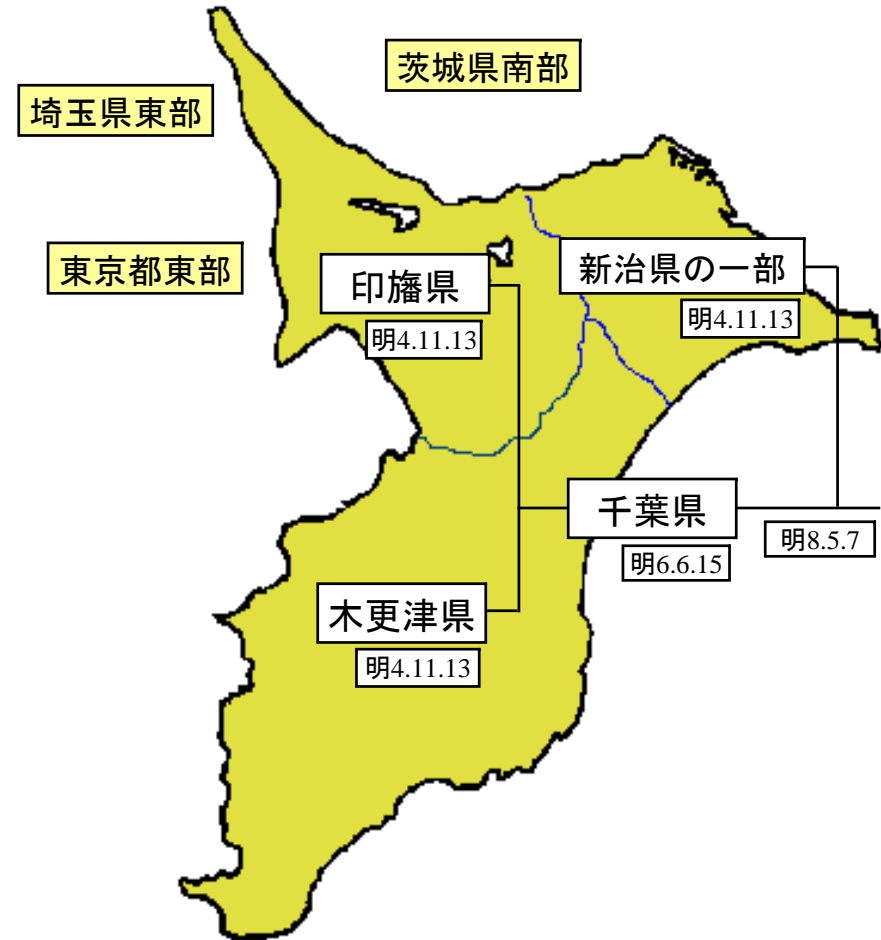
- ・「多くの葉が茂る」の意で、草木が生い茂る原野だったからとも、土地の繁栄を願っての地名とも言われている。

■江戸時代～明治維新

- ・江戸に幕府が開かれてから、幕府のお膝元として、経済的・軍事的に重要な場所として、天領、旗本領や佐倉藩が配された。
- ・また、明治維新時には、駿府の沼津藩など多くの藩が房総へ転封されたため、明治元年には23もの藩が所在した。

■明治時代

- ・廃藩置県が実施され、明治4年に入ると、木更津県、印旛県、新治県が設置された。また、同6年には木更津県と印旛県が廃止され千葉県が誕生した。(県庁は、両県の境となる千葉郡千葉町に定められた。)
- ・更に、同8年の新治県の廃県に伴い、一部が千葉県へ分割編入されたことなどで、現在の千葉県が形作られた。



出所: 千葉県ホームページなどを基に当行作成

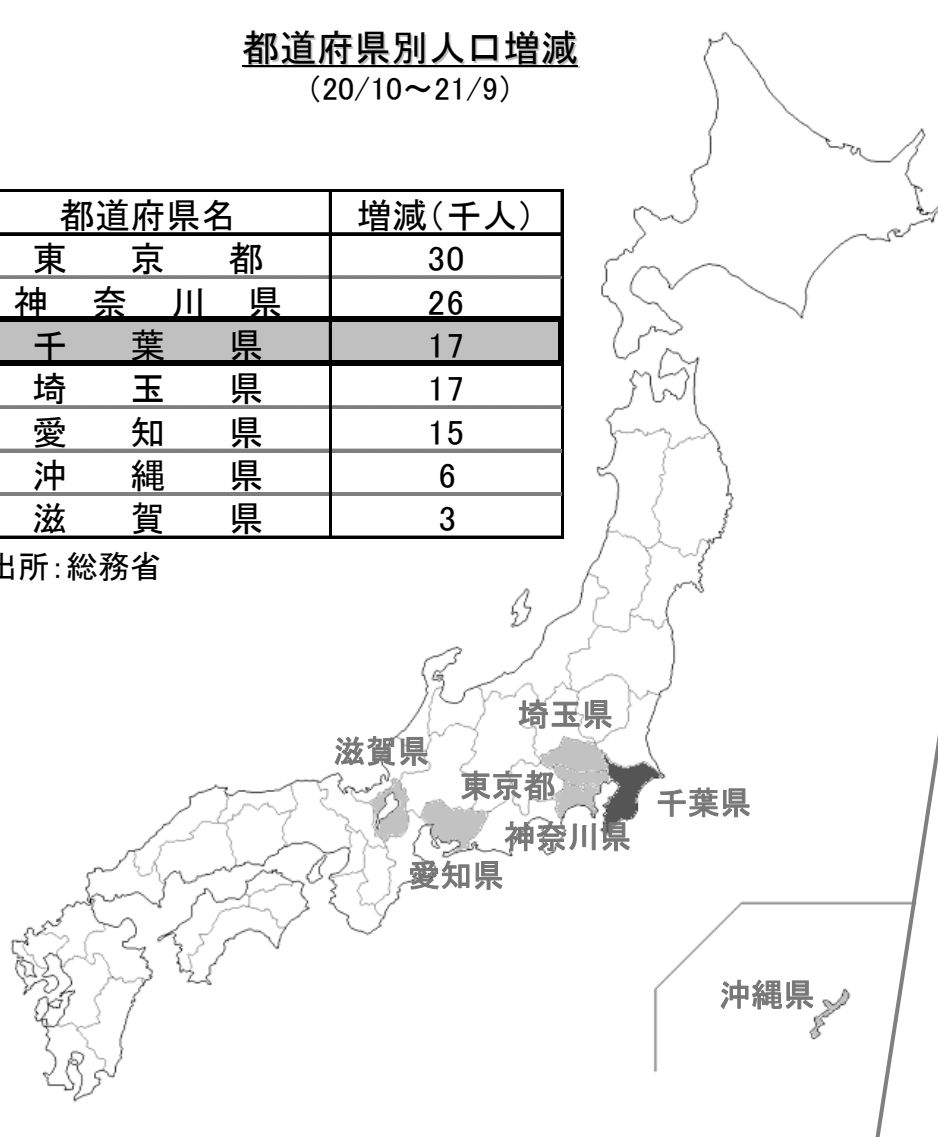
人口が増加する千葉県

■ 千葉県の人口は増加、平成21年はすべての都道府県から転入超

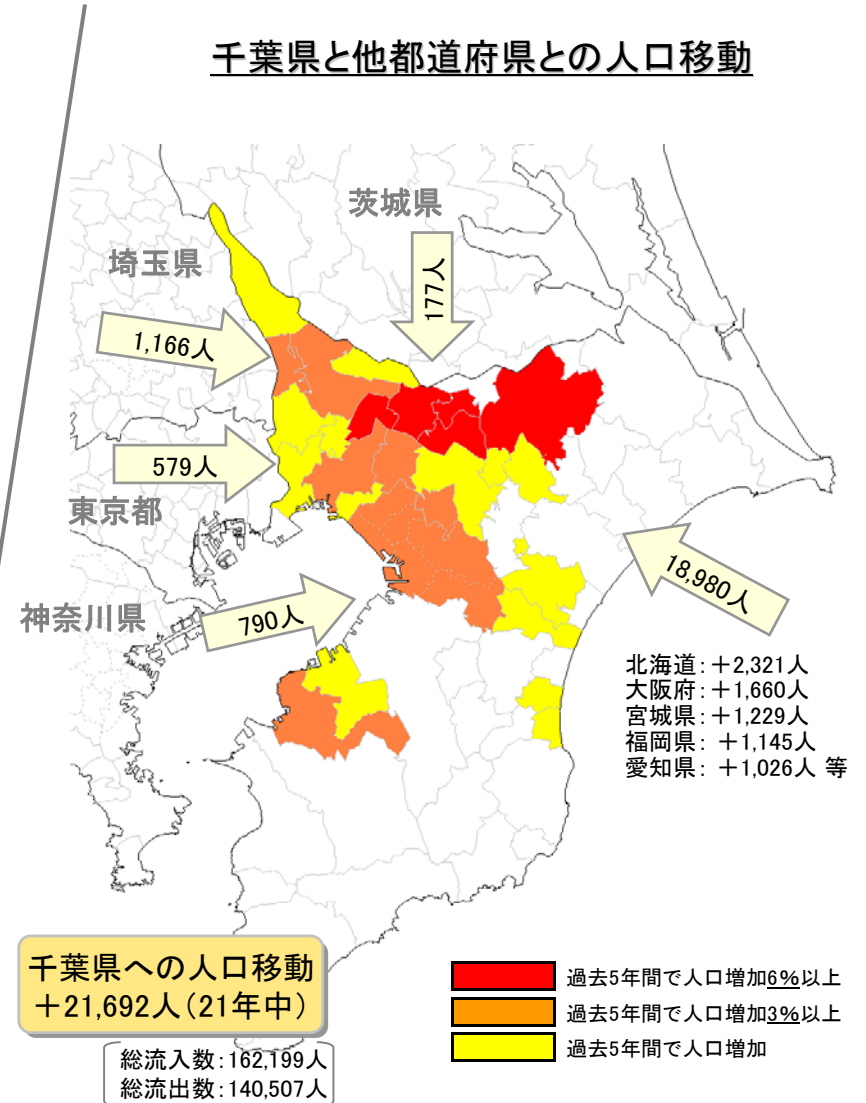
都道府県別人口増減
(20/10~21/9)

都道府県名	増減(千人)
東京都	30
神奈川県	26
千葉県	17
埼玉県	17
愛知県	15
沖縄県	6
滋賀県	3

出所:総務省



千葉県と他都道府県との人口移動



他都道府県を上回る経済成長

■ 人口の増加と共に、経済規模についても他都道府県を大きく上回り拡大

	人口		県内総生産		工業出荷額		小売販売額	
	1920(大正9)年 (万人)	2009(平成21)年 (万人)	1965(昭和40)年度 (億円)	2007(平成19)年度 (億円)	1909(明治42)年 (万円)	2008年(平成20)年 (億円)	1958(昭和33)年 (億円)	2007(平成19)年 (億円)
1位	東京都 369	東京都 1,287	東京都 61,074	東京都 923,005	大阪府 13,921	愛知県 464,212	東京都 6,599	東京都 172,896
2位	大阪府 258	神奈川県 894	大阪府 31,564	大阪府 389,218	兵庫県 9,980	神奈川県 194,975	大阪府 2,852	大阪府 95,377
3位	北海道 235	大阪府 880	神奈川県 20,564	愛知県 371,719	東京都 9,757	静岡県 191,777	北海道 2,270	神奈川県 86,123
4位	兵庫県 230	愛知県 742	愛知県 18,614	神奈川県 319,603	愛知県 5,484	大阪府 181,580	愛知県 1,720	愛知県 83,113
5位	福岡県 218	埼玉県 713	兵庫県 15,883	埼玉県 211,081	長野県 3,707	兵庫県 165,128	福岡県 1,669	埼玉県 63,295
6位	愛知県 208	千葉県 614	北海道 15,147	千葉県 196,509	京都府 3,324	千葉県 154,637	神奈川県 1,665	北海道 61,584
7位	新潟県 177	兵庫県 558	静岡県 10,014	兵庫県 191,357	福岡県 2,391	埼玉県 146,577	兵庫県 1,521	千葉県 57,350
8位	長野県 156	北海道 551	埼玉県 8,149	福岡県 185,109	岡山県 2,130	茨城県 123,102	静岡県 959	兵庫県 54,850
9位	静岡県 155	福岡県 505	広島県 7,842	北海道 184,584	神奈川県 2,106	三重県 117,451	京都府 923	福岡県 53,543
10位	広島県 154	静岡県 379	京都府 7,556	静岡県 169,275	三重県 1,987	広島県 102,935	新潟県 784	静岡県 40,760
—	14位千葉県 133		11位千葉県 7,001		24位千葉県 866		11位千葉県 763	
(出所)	総務省「国勢調査」		内閣府「県民所得統計年報」 「県民経済計算年報」		経済産業省「工業統計」		経済産業省「商業統計」	

※左が確認できる最も古い統計、右が直近のデータ。

大規模プロジェクトが牽引する千葉県の成長力

つくばエクスプレス

17年8月 開業

平均乗車人員数(1日)
開業当初、22年度に27万人(採算ベース)を計画
⇒ 21年度に1年前倒しで計画達成

東京湾アクアライン



通行料金引下げ
(21/8~23/3)

普通車の場合
3,000円⇒800円

交通量 5割増加

木更津



羽田空港効果
による産業活性化

24年春オープン予定
三井アウトレット
パーク木更津金田

成田スカイアクセス 22年7月 全線開通



日暮里
↕ 最速36分
↕
成田空港

成田国際空港 21年10月 B滑走路延伸

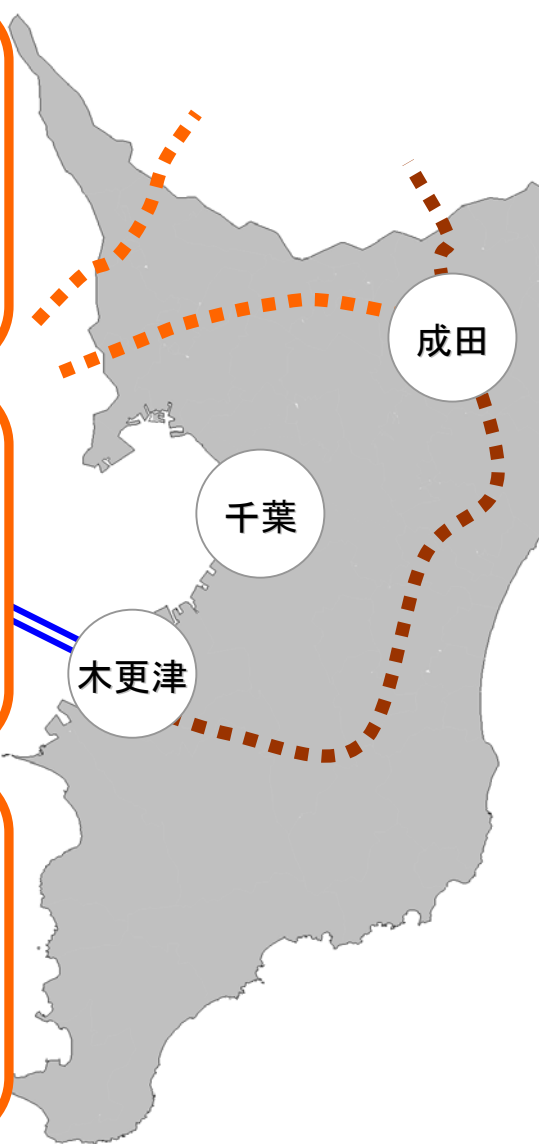


22年10月 発着枠増で合意
年間20万回⇒30万回
(~26年度)

首都圏中央連絡自動車道 (圏央道)



24年度開通予定
東金IC・JCT - 茂原
茂原 - 木更津東IC



千葉が誇る全国ナンバーワン

■ 千葉は農漁業や観光産業が盛んであり、多くの特産品に恵まれている

農産物

出所:農林水産省(平成20年)



だいこん
126億円(13%)



ほうれんそう
122億円(13%)



さつまいも
202億円(21%)



落花生
84億円(86%)



日本なし
140億円(17%)



枝豆
54億円(16%)



きんせんか
3億円(100%)

産出額
(全国シェア)

海産物

出所:農林水産省(平成20年)



伊勢えび
301トン(21%)



かたくちいわし
78,424トン(23%)



すずき
2,660トン(26%)

漁獲量
(全国シェア)

銚子漁港

水揚げ量 223,739トン
(4年連続全国1位)

酪農

・日本の酪農発祥の地
(南房総市)

生乳生産量
全国第3位

観光資源

成田国際空港

国際旅客数 30,895千人(21年)
(日本1位、世界8位)

国際貨物量 1,810千トン(21年)
(日本1位、世界4位)

東京ディズニーリゾート

年間入園者数:2,500万人超
(日本最大)

累計入園者数:5億人超

海水浴場

海水浴場数:77ヶ所
(全国1位)

稲毛海浜公園
:日本初の人口海浜

その他

貝塚密集度日本一(千葉市)

日本最大の石仏(日本寺)

ゴルフ場の数日本一(市原市)

■ 成長性に富む「千葉県」

▶ ■ 千葉の成長と共に歩む千葉銀行

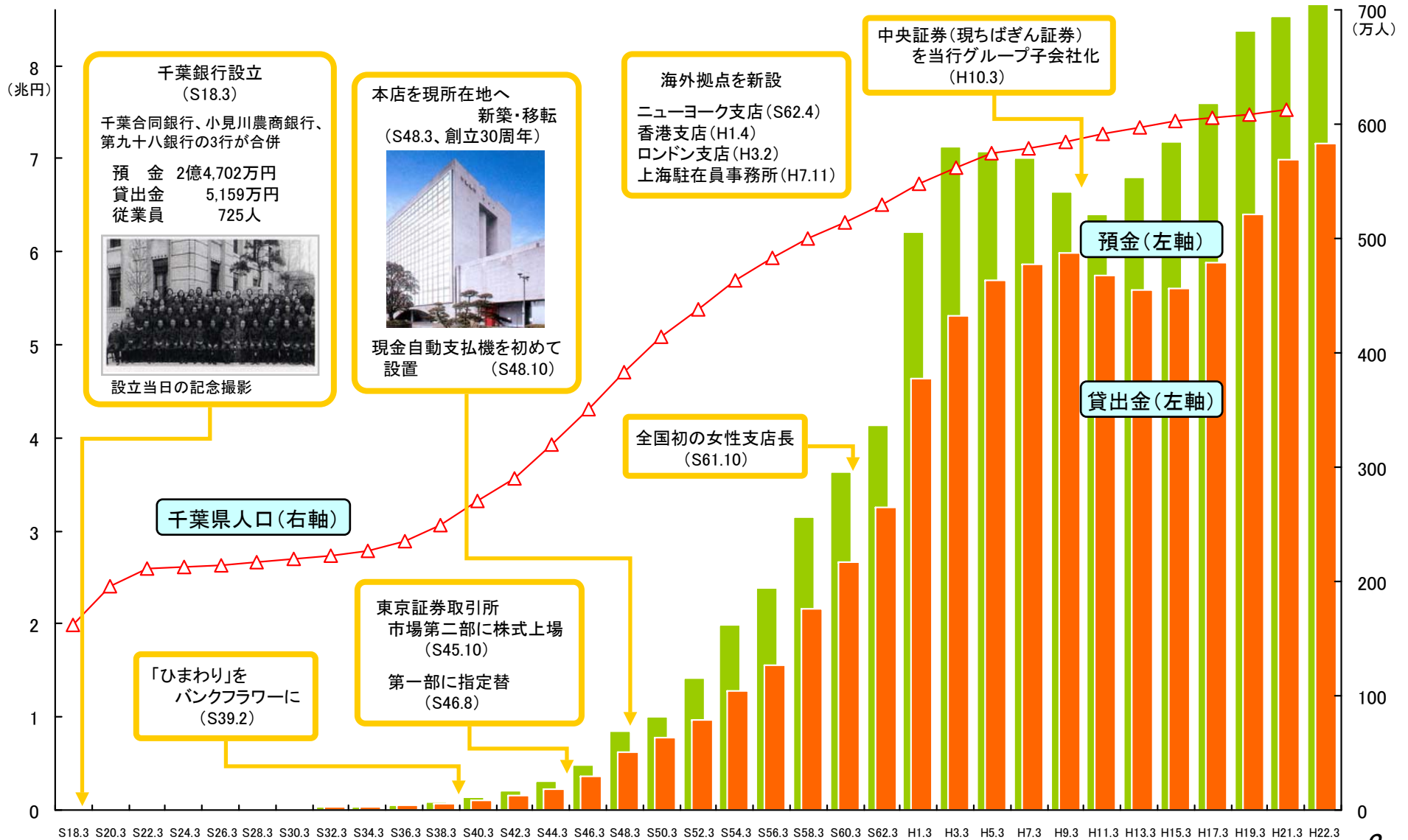
千葉銀行の歩み	8
千葉銀行の顧客基盤	9
千葉銀行の店舗網	10
千葉銀行の営業施策	11
成長を続ける「広域千葉圏」	12
店舗展開①	13
店舗展開②	14
投資型金融商品の販売拡大①	15
投資型金融商品の販売拡大②	16
証券業務の拡充	17
成長業種への対応強化	18
地域貢献活動への取り組み	19

■ 業績推移と株主還元

■ 参考資料

千葉銀行の歩み

「千葉県の人口」と「当行の預貸金残高」



千葉銀行の顧客基盤

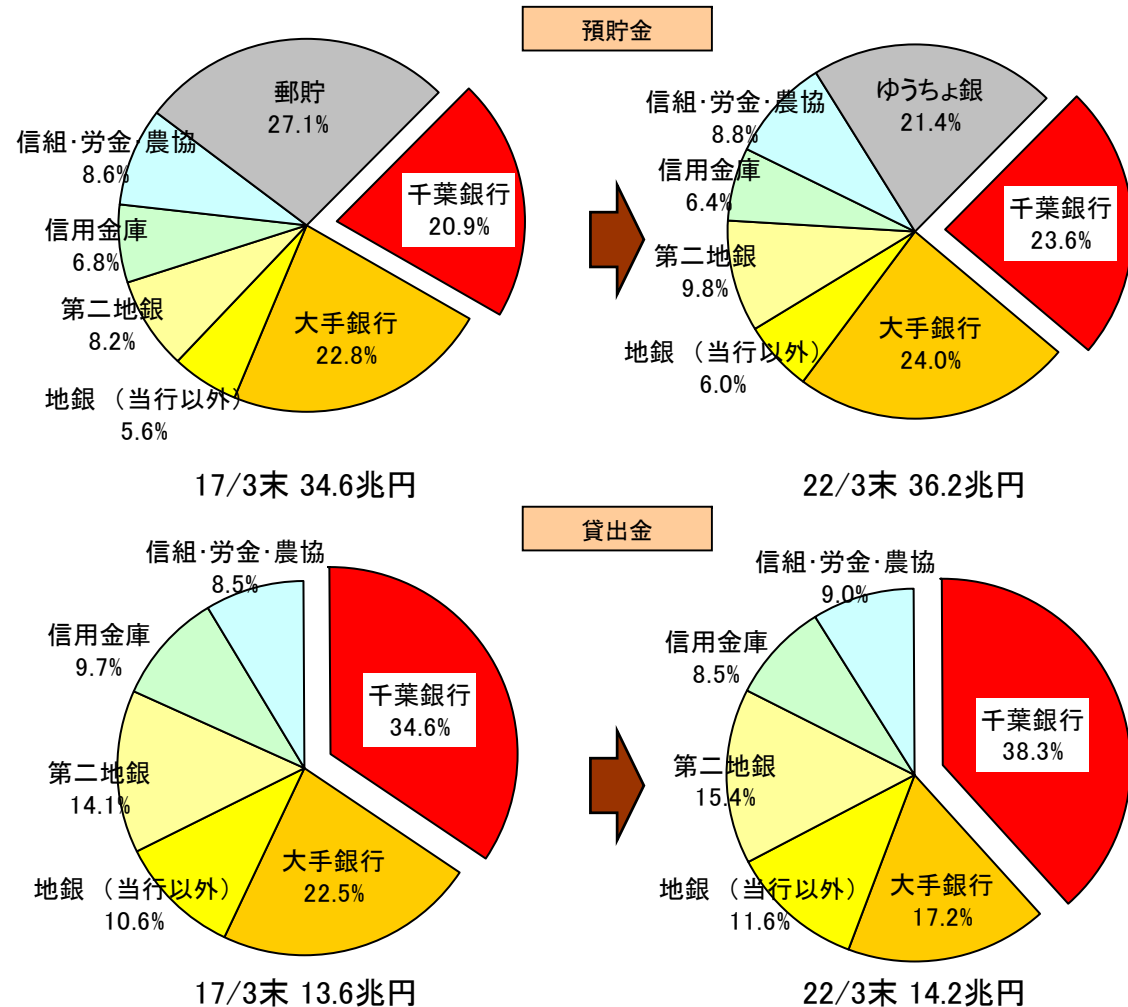
■ 千葉県を中心に強固な顧客基盤を有し、千葉県内シェアは着実に増加

当行の顧客基盤

預金残高	8.8兆円 (地銀第2位)
貸出金残高	7.1兆円 (地銀第2位)
個人預金先数	428万先 (うち千葉県内のお客さま:421万先)
(うち給与振込をご指定のお客さま)	(85万先)
(うち年金のお受取をご指定のお客さま)	(40万先)
法人預金先数	20万先

※22/3末現在

千葉県内金融機関シェア



出所:金融ジャーナル

千葉銀行の店舗網

■ 千葉県を中心に充実した店舗網を有し、海外にも3支店2駐在員事務所(※)を設置

(※) 今年3月に開設するシンガポール駐在員事務所を含む

国内173店舗 (県内155店舗)



海外店舗



ロンドン支店



香港支店



ニューヨーク支店



千葉県内の主な銀行の店舗数(22/9末)

	当行	京葉銀行	千葉興業銀行	三菱東京UFJ銀行	みずほ銀行	三井住友銀行
国内店舗数	173	118	72	—	—	—
千葉県内	155	117	71	26	25	22
県外	18	1	1	—	—	—

■ チャネルの充実

- ✓ 店舗展開 …… P13、P14

■ 個人向け営業強化

- ✓ 投資型金融商品の販売拡大 …… P15、P16
- ✓ 証券業務 …… P17
- ✓ 住宅ローンの増強
- ✓ 預金取込みの強化

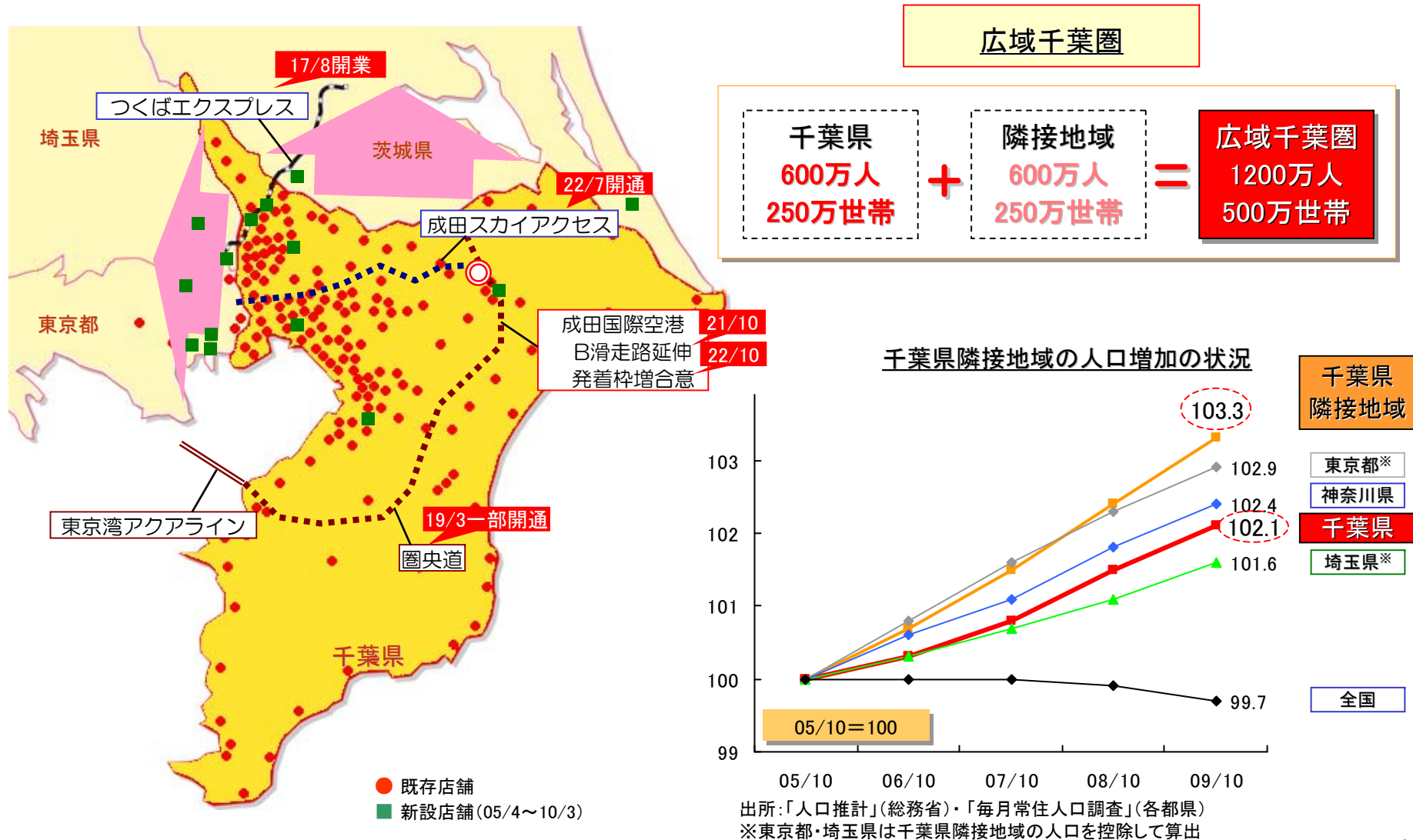
■ 法人向け営業強化

- ✓ 成長業種への対応強化 …… P18
- ✓ 新規取引先の拡大
- ✓ 円滑な資金供給、健全化支援

■ 海外拠点の活用

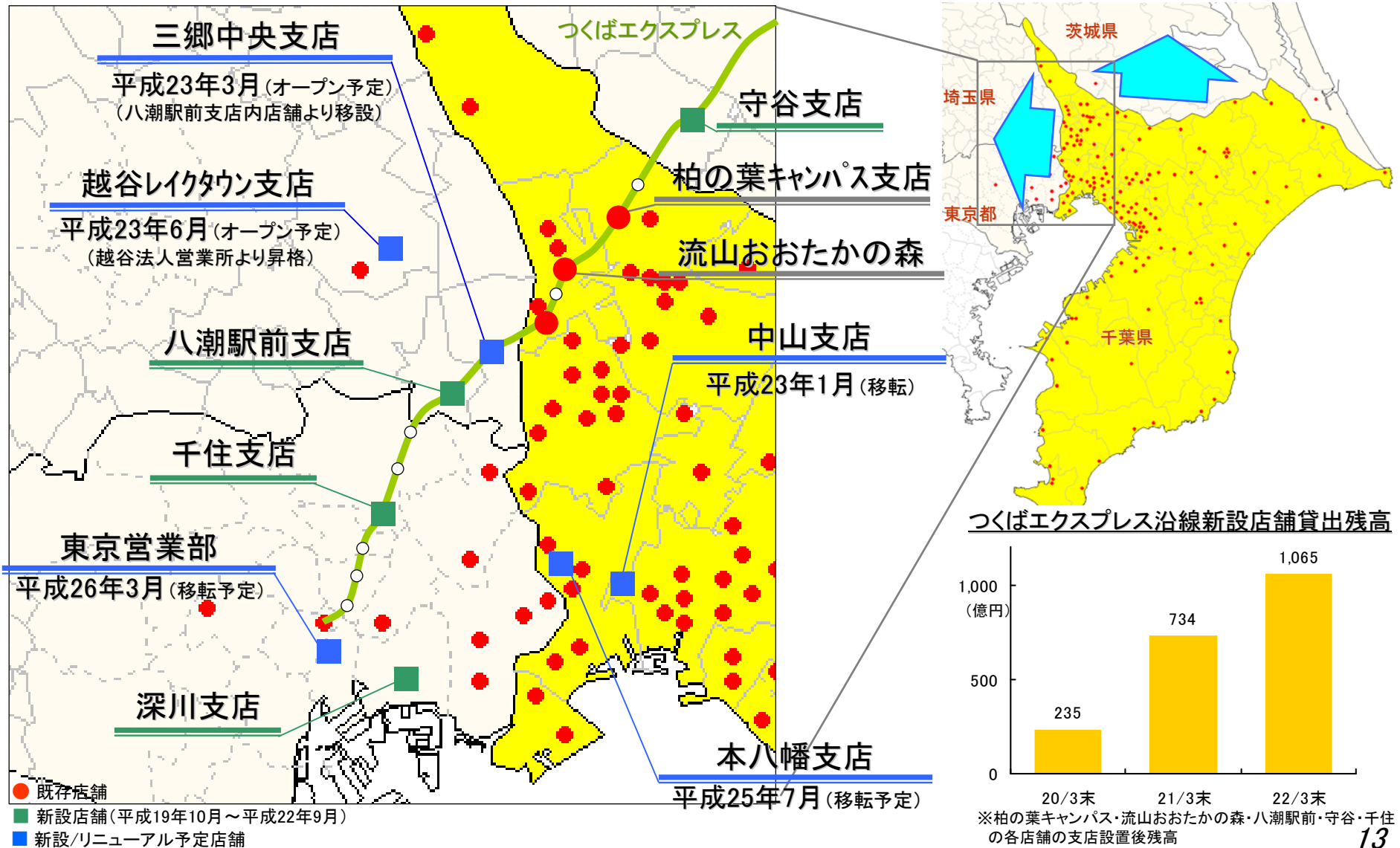
成長を続ける「広域千葉圏」

■ 「広域千葉圏」は引き続き成長する魅力的なマーケット



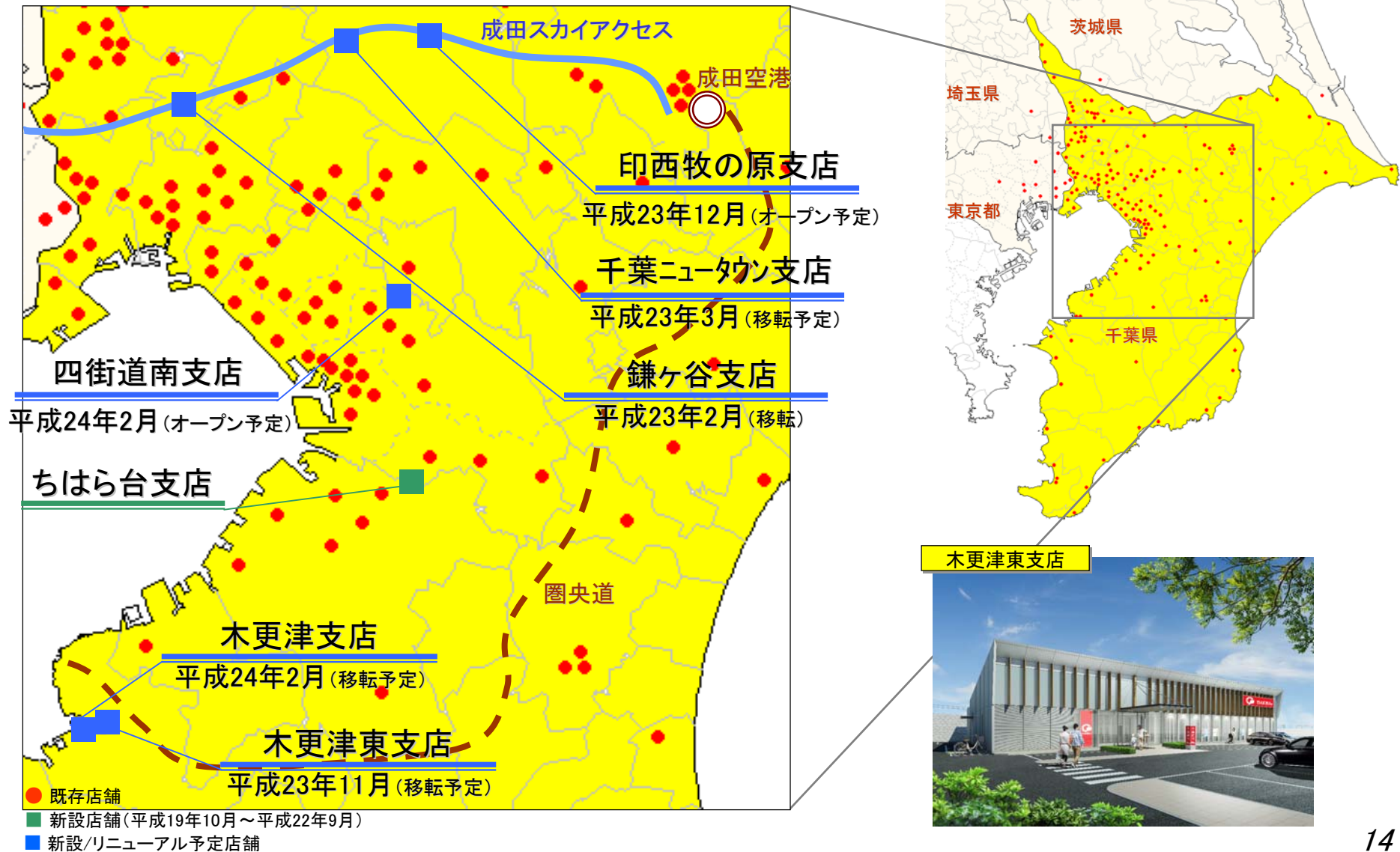
店舗展開①

■ さらなる収益拡大を目指すため、広域千葉圏の成長地域に積極的に出店



店舗展開②

■ 地域の深掘りを徹底するため、千葉県内の成長地域や空白地域の店舗ネットワークを強化



投資型金融商品の販売拡大①

■ コンサルティング機能のさらなる向上に向けて体制を強化

コンサルティング機能向上に向けた体制整備

市場動向

- 相続資産
首都圏流入
- 個人向け国債
償還スタート
- ゆうちょ銀行の定額貯金
集中満期

顧客ニーズ

企業 オーナー	事業承継 財務・税務・法律相談
富裕層	金融資産運用 不動産有効利用 円滑な資産承継
退職者 等	退職金等運用 年金の相談

過去実績

- 投資信託残高
4,684億円(22/9末)
… 地方銀行第1位
- 年金保険
年金保険取扱保険料
(14年10月からの累計)
8,000 (億円)
4,000
0
2,400 7,301
17/3末 22/9末
- 信託・相続関連業務
銀行本体で参入(18/6)
… 銀行初
- 年金受取口座
400 (千口座)
300
200
318 419
17/3末 22/9末



コンサルティング営業部

21/10 設置

✓ 本部各部に分散していた金融商品販売にかかると企画・推進業務等を一元化

22/4 配置

ウェルズ・マネージャー	外部専門家
コンサルティングプラザ 千葉・柏・船橋	弁護士 税理士
営業店 広域千葉圏 169店舗(22/9末)	ちばぎん証券 広域千葉圏 14店舗(22/9末)

日本法人と業務提携



ロンバード・オディエ ダリエ・ヘンチ銀行	
設立	1796年
本部所在地	ジュネーブ
拠点数	17ヶ国23ヶ所
預り資産残高	1,470億スイスフラン
従業員数	約1,900名

※ 22年2月末現在

投資型金融商品の販売拡大②

■ お客さまからの相談をお受けする拠点としてコンサルティングプラザを設置

コンサルティングプラザ千葉



コンサルティングプラザ柏



コンサルティングプラザ船橋



証券業務の拡充

■ 中央証券を「ちばぎん証券」に社名変更し、グループシナジーの実現を目指す

中央証券株式会社

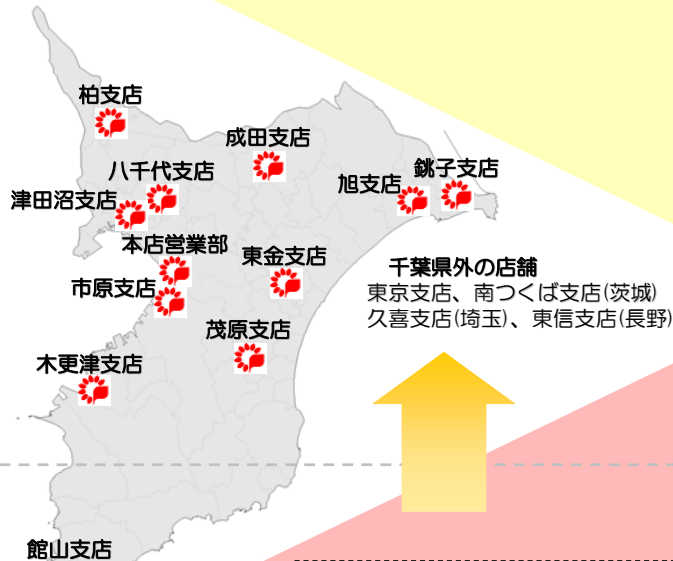
ちばぎん証券
CHIBAGIN SECURITIES

10/3

■ちばぎんグループ入り

23/1

■「ちばぎん証券」に社名変更
■本店を千葉県千葉市に移転



グループ
シナジー
の実現

10/12

■投資信託窓販解禁

17/2

■金融商品仲介業務取扱開始
(委託証券会社: 中央証券)

20/4

■仕組債の取扱開始

22/10

■「紹介型仲介」追加

成長業種への対応強化

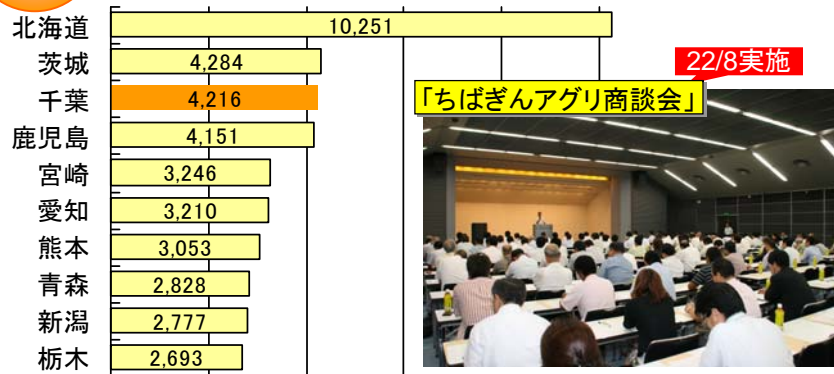
■ 資金ニーズを創出するため、地域経済の活性化に向けた取り組みを強化

22年10月 営業開発部内に「成長ビジネスサポート室」設置
 農業、観光、医療・介護、環境、PFI、国際業務、ベンチャーなどの成長分野に専担者を配置し、お客さまをサポート

農業

農業産出額 (単位: 億円)

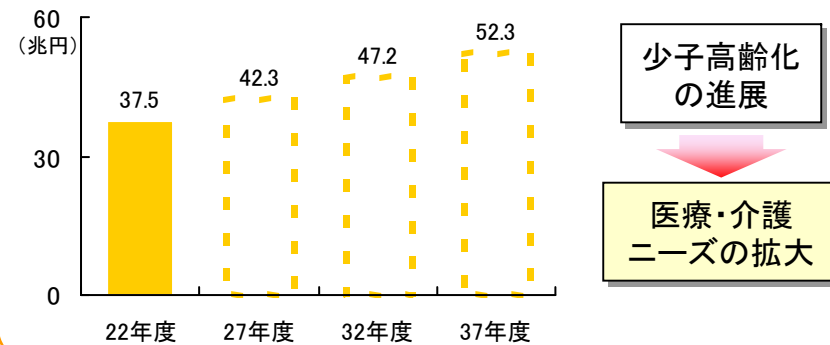
出典: 農林水産省(20年)



医療

国民医療費見込み

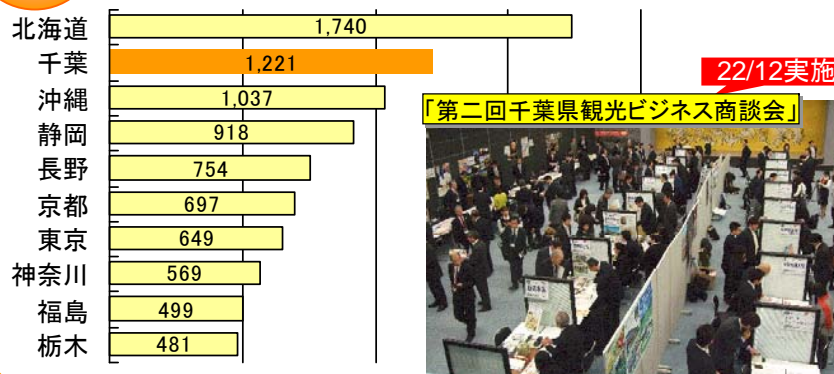
出典: 厚生労働省(22年)



観光

観光目的宿泊者数 (単位: 万人)

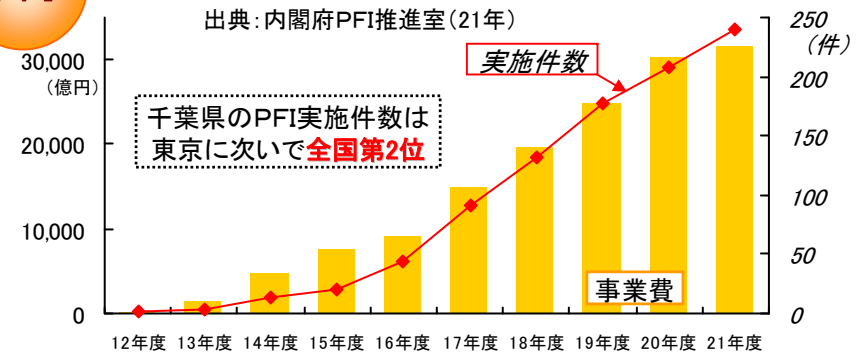
出典: 観光庁(21年)



PFI

PFI※実施件数/事業費

出典: 内閣府PFI推進室(21年)



※ PFIとは、公共施設等の建設・維持管理・運営等を民間の資金・経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法のこと

地域貢献活動への取り組み

■ 「未来を育む」をキーワードに、「ひと」「環境」「産業」の育成に資する社会貢献活動を展開

「ひと」の未来を育む

- ・「ちばぎんひまわりコンサート」の開催（平成元～）
- ・千葉大学への冠講座の提供（19/4～）
- ・公益信託「ちばぎんハートフル福祉基金」の設立、助成金交付事業（21/11～）
- ・千葉国体、千葉大会へのボランティア参加（22/9）



ちばぎんひまわりコンサート



千葉大学へ冠講座を提供

「環境」の未来を育む

- ・店舗屋上緑化（21/12～）
- ・九十九里浜、印旛沼クリーンウォーク活動（H15～）
- ・富津市鬼泪山、長生郡白子町の森林整備活動（H15～）
- ・ペットボトル、キャップ回収運動（22/2～）



クリーンウォーク活動



森林整備活動

「産業」の未来を育む

- ・財団法人ひまわりベンチャー育成基金の設立、助成金交付事業（H10～）
- ・「千葉県29大学合同就職セミナー2010」の開催（22/6）
- ・ちば観光定期預金の取扱い開始（22/6）
- ・各種商談会、セミナーの開催



ひまわりベンチャー育成基金



「千葉県29大学合同就職セミナー」

■ 成長性に富む「千葉県」

■ 千葉の成長と共に歩む千葉銀行

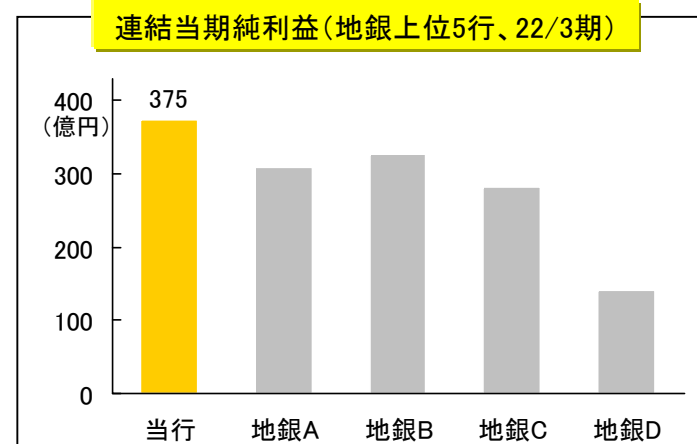
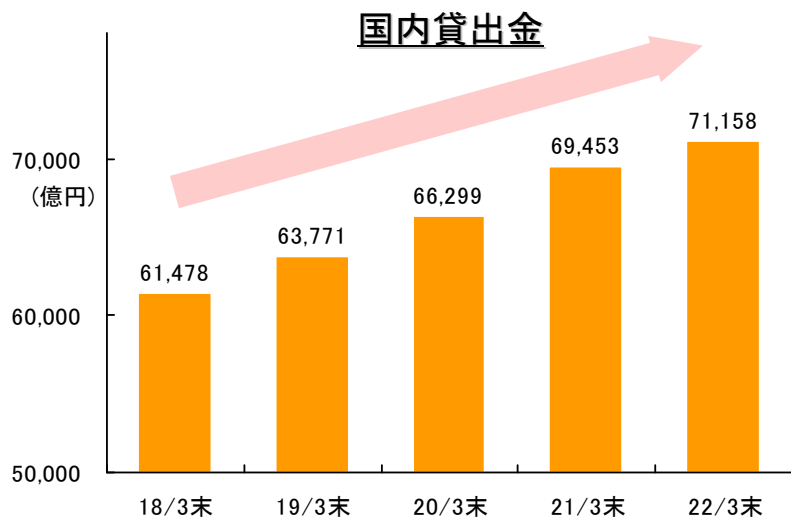
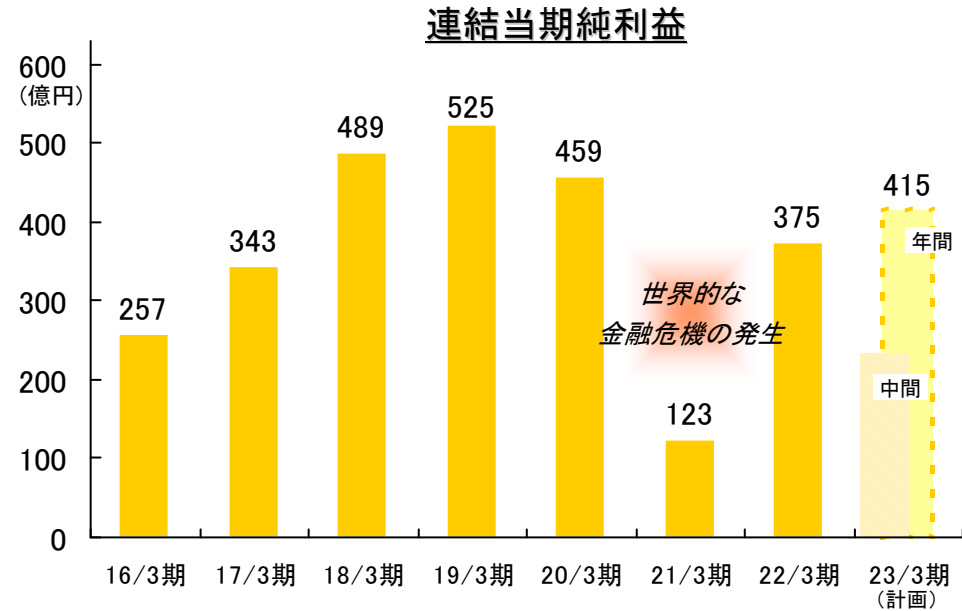
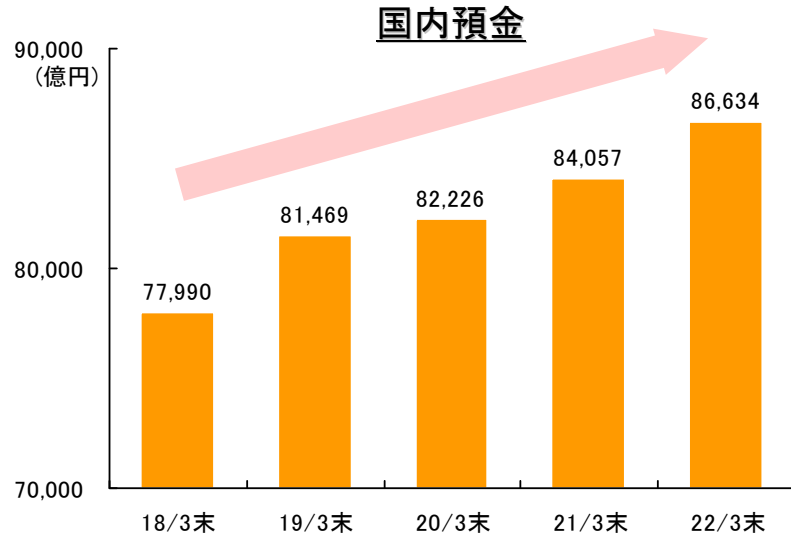
▶ ■ **業績推移と株主還元**

安定した収益力	21
収益源の多様化	22
高い健全性	23
株主還元①	24
株主還元②	25

■ 参考資料

安定した収益力

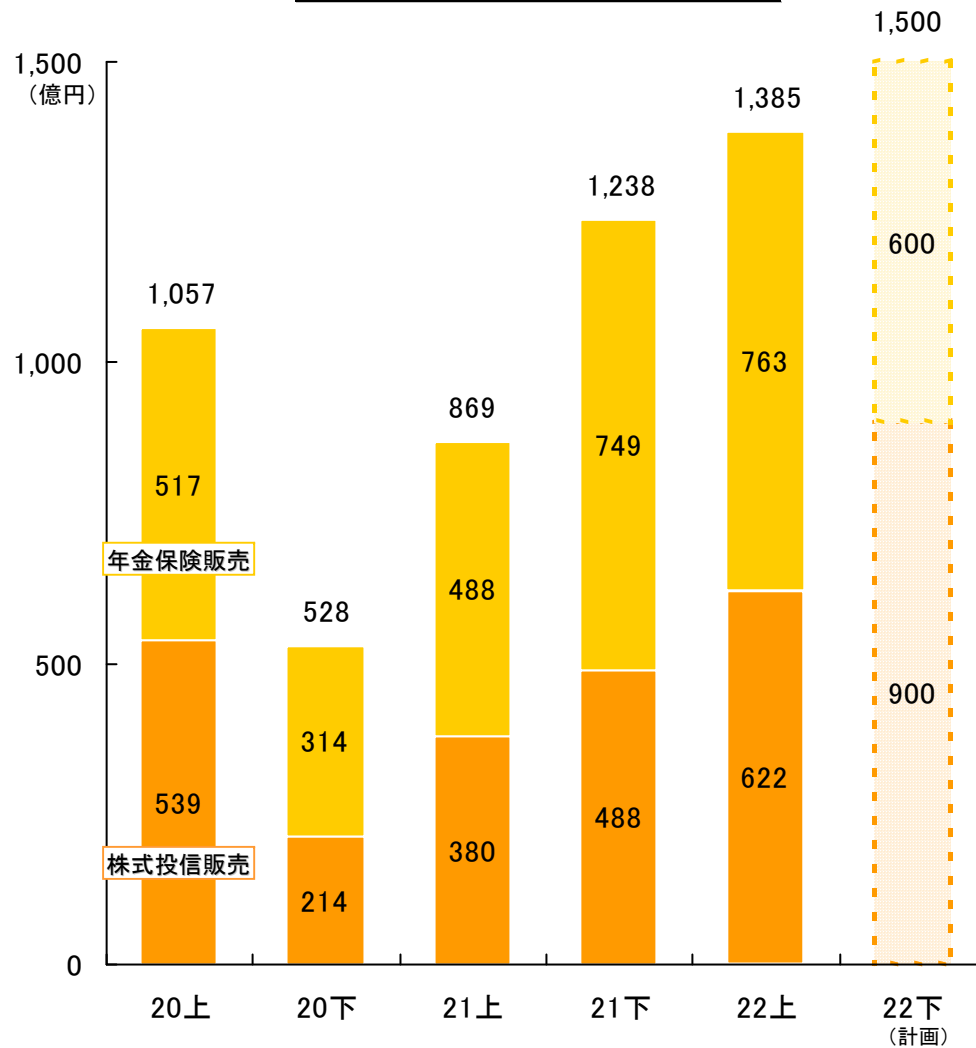
■ 国内預金や国内貸出金の増加により、安定した収益力を維持



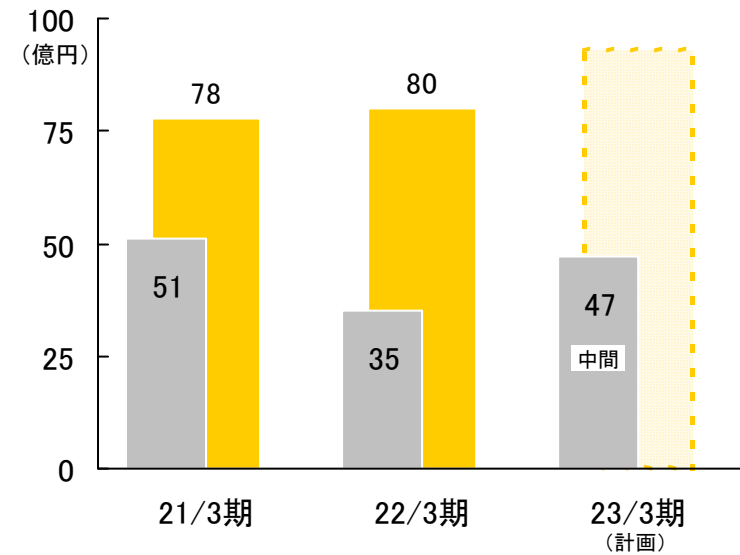
収益源の多様化

■ お客様の運用ニーズに的確に応えることにより、安定した手数料収入を確保

投資型金融商品販売(半期毎)

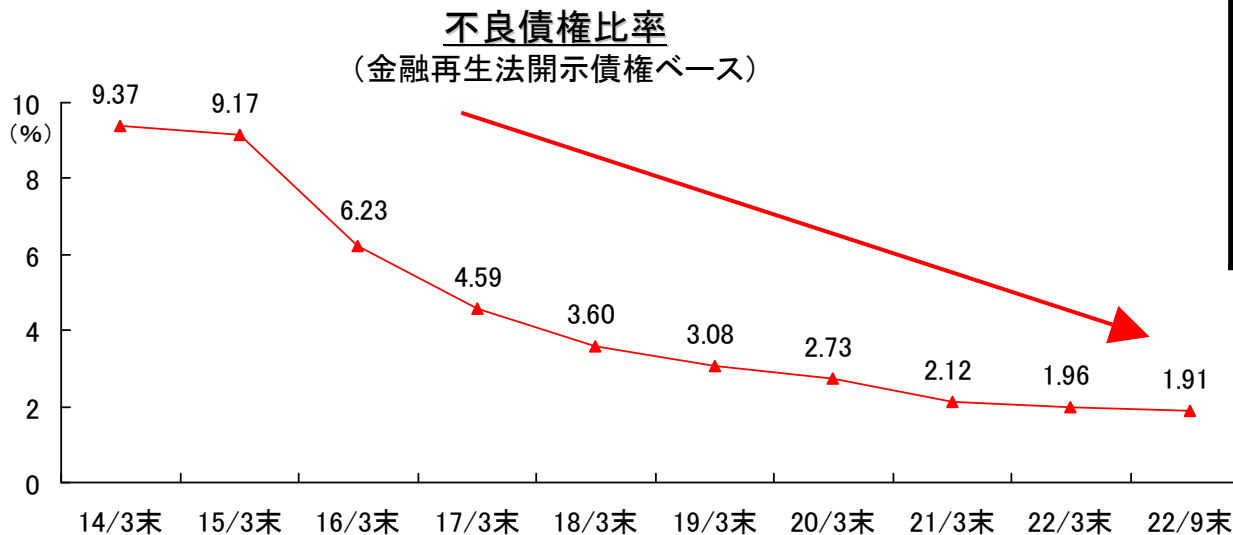
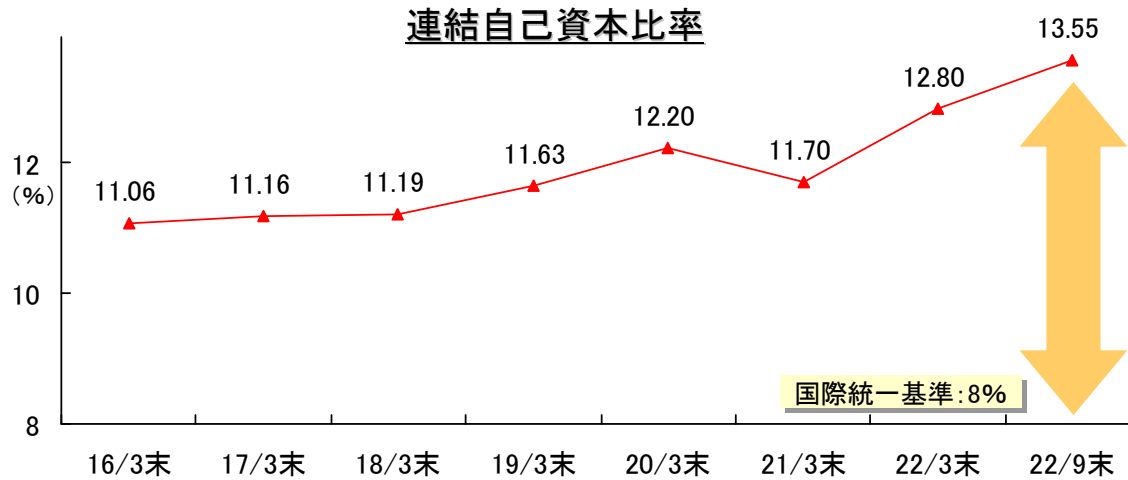


金融商品販売手数料



高い健全性

■ 高い健全性で、地域へ円滑かつ安定的に資金を供給



銀行格付比較

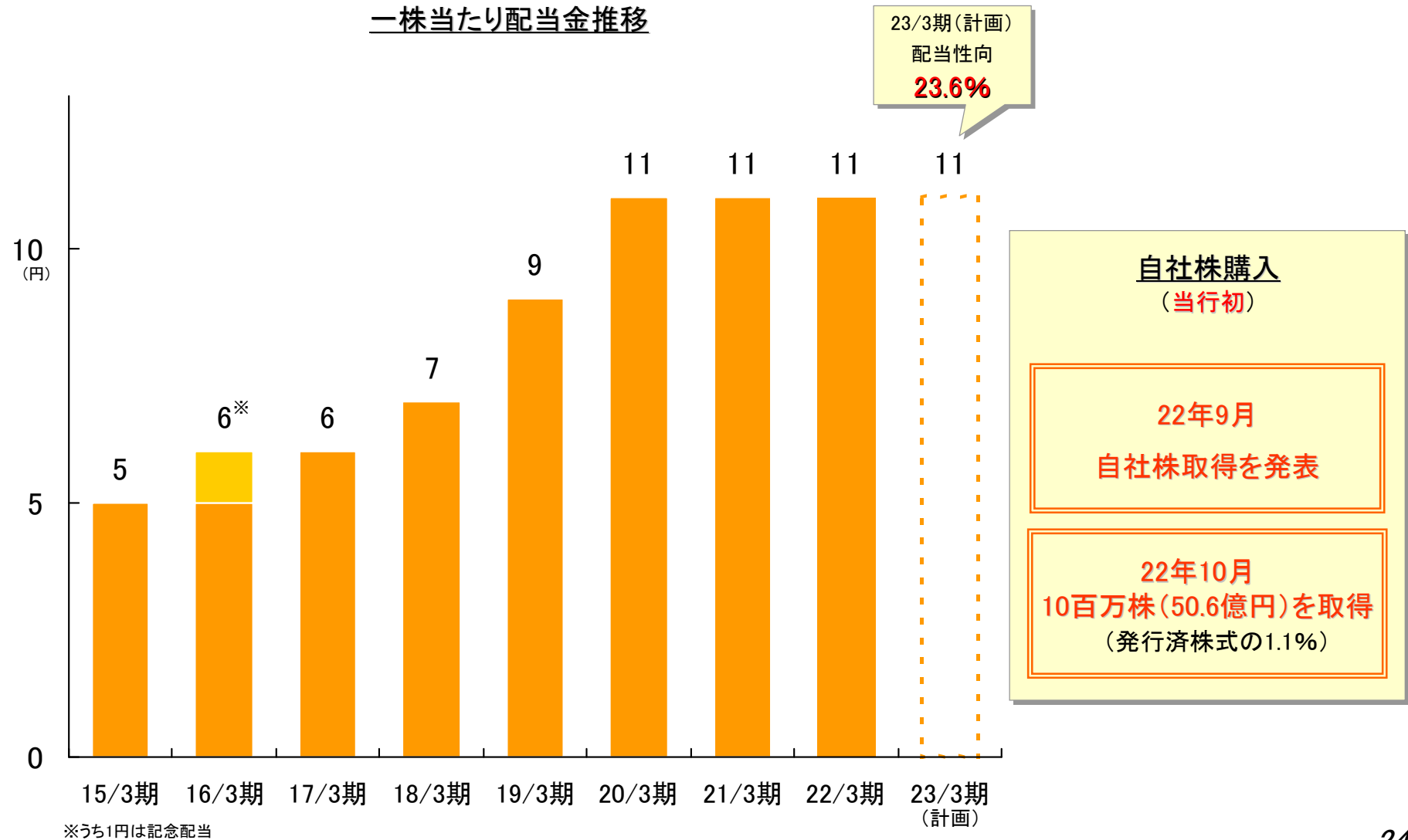
(平成22年12月末現在)

格付	銀行名
AA	静岡銀行
AA-	千葉銀行 横浜銀行 常陽銀行
A+	福岡銀行 群馬銀行 八十二銀行 三菱東京UFJ銀行 三菱UFJ信託銀行 みずほ銀行 みずほコーポレート銀行 みずほ信託銀行 三井住友銀行 住友信託銀行
A	りそな銀行 埼玉りそな銀行
A-	
BBB+	新生銀行 あおぞら銀行

格付投資情報センター※(R&I)による発行体格付
※ 国内最大の格付機関

株主還元①

■ 安定配当の考え方を維持しつつ、積極的に利益を還元

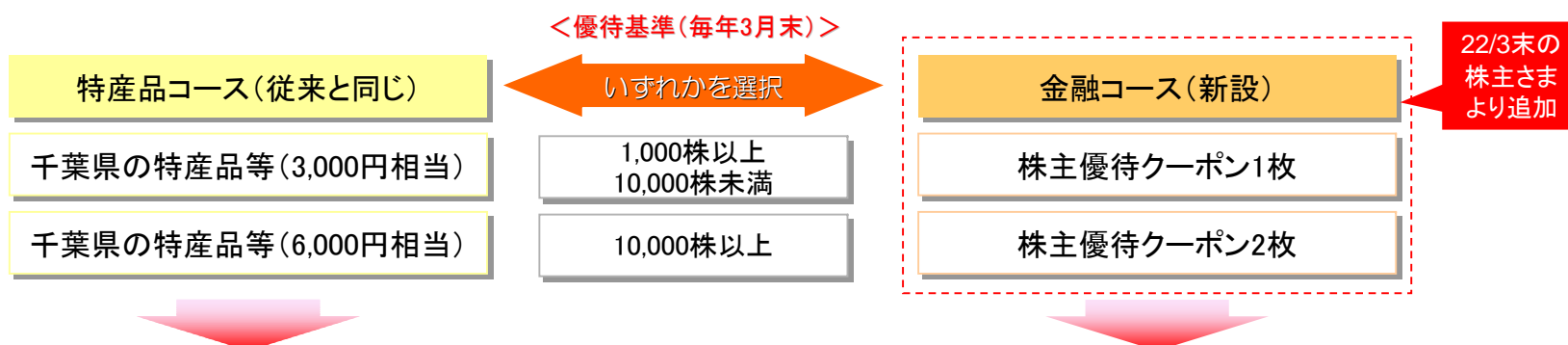


株主還元②

■ 株主さまの幅広いニーズにお応えするため、株主優待制度を拡充

株主優待制度

オリジナル株主優待カタログに記載の2コース（①特産品コース、②金融コース）のいずれかをお選びいただけます。



特産品コース

カタログに記載された千葉県の特産品等からお好みの商品をお選びいただけます。

<人気商品の例>



※写真はすべて3,000円相当カタログ掲載の商品

金融コース

当行およびグループ会社が提供する金融商品・サービスの優待が受けられる株主優待クーポンをお送りいたします。

<株主優待クーポン1枚で受けられる優待内容>

1	定期預金金利0.2%上乗せ (上限500万円、期間1年)
2	外国通貨両替手数料20%割引 (上限100万円両替分[割引後レートで換算])
3	遺言信託引受承諾手数料(21万円[税込])20%割引
4	ちばぎん証券の国内上場株式売買委託手数料20%割引 (上限1万円、期間1年)
5	ちばぎん総合研究所のセミナー受講料20%割引 (上限1万円)

※上記のいずれか1つをお選びいただけます

■ 成長性に富む「千葉県」

■ 千葉の成長と共に歩む千葉銀行

■ 業績推移と株主還元



■ **参考資料**

(ご参考) 中間業績概要①

■ 金利低下の影響で資金利益は減少するも、役務取引等利益、債券関係損益の増加でカバー

<億円>	21/9期	22/9期	
			増減額
業務粗利益 ①	823	812	△ 10
資金利益	728	695	△ 33
役務取引等利益	67	73	5
特定取引利益	16	7	△ 9
その他業務利益	10	35	25
うち 債券関係損益 ②	△ 5	24	29
経費 ③	397	400	2
うち 人件費	199	208	8
うち 物件費	178	172	△ 6
実質業務純益 ①-③	425	412	△ 13
コア業務純益 ①-②-③	430	388	△ 42

資金利益

<億円>	22/9期	
		増減
資金利益	695	△ 33
国内業務部門	680	△ 28
うち 預貸金	608	△ 24
貸出金利息	651	△ 46
預金利息	43	△ 22
うち有証利息配当金	83	△ 1
国際業務部門	14	△ 4

役務取引等利益

<億円>	22/9期	
		増減
役務取引等利益	73	5
役務取引等収益	162	8
うち 投信・年金保険等	47	11
投資信託	23	5
年金保険等	23	6
うちATM関連手数料	19	△ 1
うち法人関連手数料*	3	△ 1
役務取引等費用	88	2
うちローン関係費用 (団信・保証料)	52	2

*私募債・シジケートローン・M&A・CLO関連の手数料

(ご参考) 中間業績概要②

■ 実質信用コストが大きく減少し、経常利益・中間純利益は期初計画を上回る

<億円>	21/9期	22/9期	
			増減額
実質業務純益	425	412	△ 13
一般貸倒引当金純繰入額 ④	52	-	△ 52
業務純益	373	412	39
臨時損益	△ 152	△ 75	77
うち 不良債権処理額 ⑤	159	79	△ 79
うち 株式等関係損益	6	△ 8	△ 14
経常利益	220	期初計画 320	336
特別損益	43	34	△ 8
うち 貸倒引当金戻入益 ⑥	-	8	△ 8
うち 償却債権取立益 ⑦	43	32	△ 10
中間純利益	163	200	226
実質信用コスト ④+⑤-⑥-⑦	168	85	39
連結中間純利益	166	205	233
連単差	2	7	4

貸倒引当金戻入益

✓ 貸倒引当金繰入額の合計が戻入となったため、合計額を「貸倒引当金戻入益」として特別利益に計上

<億円>	適用前	適用後
一般貸倒引当金純繰入額	△ 20	-
臨時損益	△ 88	△ 75
うち不良債権処理額	92	79
うち個別貸倒引当金純繰入額	12	-
うち特定海外債権引当勘定繰入額	-	-
経常利益	344	336
特別損益	26	34
うち貸倒引当金戻入益	-	8

実質信用コスト 増減内訳

<億円>	22/9期	
		増減
一般貸倒引当金純繰入額	△ 20	△ 72
不良債権処理額	92	△ 67
新規発生 (債務者区分悪化)	75	△ 79
担保	16	△ 1
回収等(含引当率低下)	0	13
信用コスト	71	△ 139
償却債権取立益	32	△ 10
実質信用コスト	39	△ 129

※上記会計処理が適用されなかったものとして、前年同期と比較

(ご参考)23年3月期 業績予想

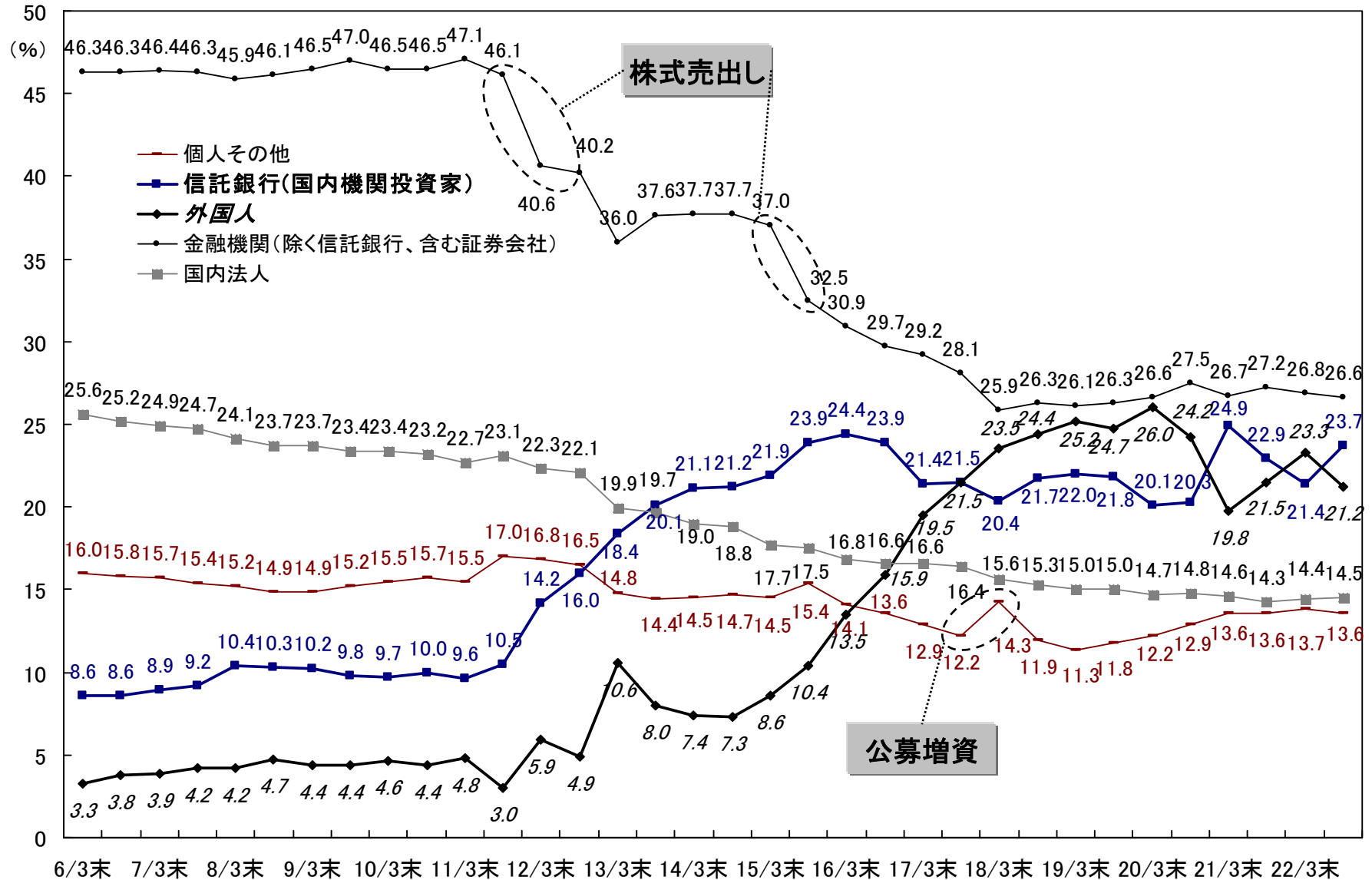
■ 当期純利益の中計目標達成を目指す

＜億円＞	22/3期 (実績)	23/3期			23/3期 (中計)
		(計画)	22/3期比	うち下期 (計画)	
業務粗利益	1,621	1,615	△ 6	802	
資金利益	1,433	1,380	△ 53	684	
役務取引等利益	141	150	8	76	
特定取引利益	30	20	△ 10	12	
その他業務利益	16	65	48	29	
うち債券関係損益	△ 9	35	44	10	
経費	803	815	11	414	
実質業務純益	818	800	△ 18	387	900
経常利益	534	630	95	293	
当期純利益	362	400	37	173	400
実質信用コスト	194	125	△ 69	85	
連結経常利益	568	660	91	294	
連結当期純利益	375	415	39	181	415
一株あたり配当	11円	11円			
配当性向	26.1%	23.5%			
株主還元率 ^{※2}	26.1%	35.7%			

※1.連結経常利益、連結当期純利益、配当性向、株主還元率以外は単体ベース

※2.株主還元率=(配当金総額+自己株式取得額)÷連結当期純利益

(ご参考)株主構成の変化



本資料に関する
ご意見、ご感想、お問い合わせは
下記IR担当までお願いいたします。

株式会社 千葉銀行経営企画部(IR担当)

Tel: 043-301-8147

Fax: 043-242-9121

E-Mail: ir@chibabank.co.jp

本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。
本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。
本資料には、将来の業績にかかる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。